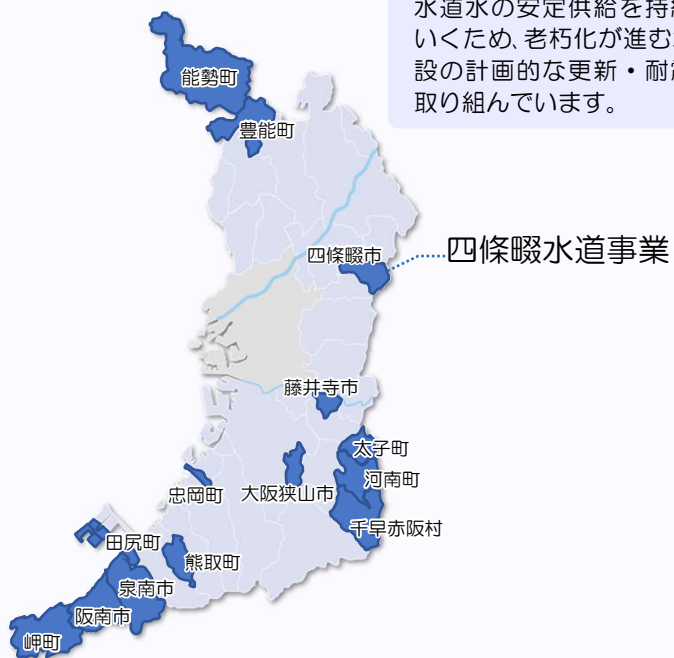


2024年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(13水道事業)



水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。

重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

この計画策定に当たり、企業団と統合元団体に協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)

本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。



■ 四條畷水道事業



	基準年度実績 (2021年度)	2023年度 実績	2024年度 実績	目標 (2029年度)
管路の耐震管率				
基幹管路	84%	85%	85%	84%
重要施設 配水管路※ (耐震適合率)	—	33% (33%)	33% (33%)	44% (44%)

※ 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は4.6億円で、主な事業は次のとおりです。



設備の更新

■ 中野管理本館ほか 受電設備更新工事

更新時期を迎えた受電設備の更新を実施しています。

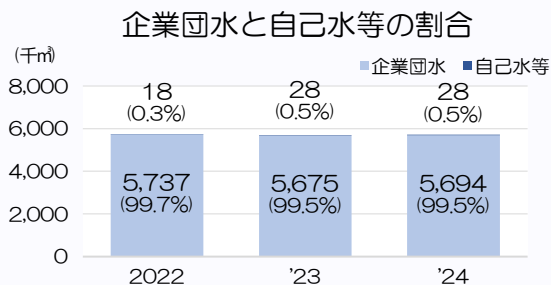
2024年度
執行額 173百万円

その他の取組

- 中央ポンプ場の無停電電源装置更新工事を実施しました。
- 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を進めています。2024年度は重要施設配水管路である西中野地区などの更新を実施しました。

■ 四條畷水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は53,675人で、前年度と比べて456人(0.8%)減少しています。

また、給水戸数は23,511戸で、1,519戸(6.1%)減少しています。

給水量は5,722千m³で、前年度と比べて19千m³(0.3%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

収益的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収 益	1,138	1,128	△ 10
給水収益	944	922	△ 22
長期前受金戻入	114	112	△ 2
その他収入	79	93	14
特別利益	0	1	0
費 用	1,036	1,080	44
維持管理費	726	760	34
減価償却費等	282	295	12
支払利息	27	25	△ 2
特別損失	0	0	△ 0
単年度損益	102	48	△ 54

(単位：百万円、税込)

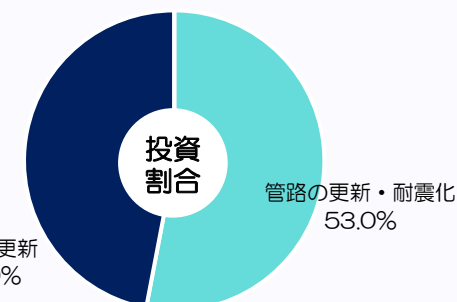
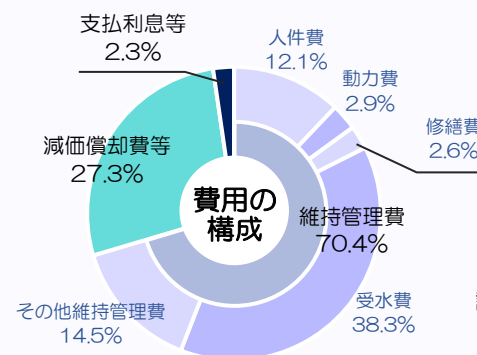
資本的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	332	387	55
企業債	155	190	35
国庫補助金等	131	130	△ 1
その他収入	45	67	22
支 出	736	674	△ 62
建設改良費	541	486	△ 55
企業債償還金	191	188	△ 3
その他支出	4	—	△ 4
収支の差額	△ 404	△ 287	117

* 収支の差額については、積立金等で補てん



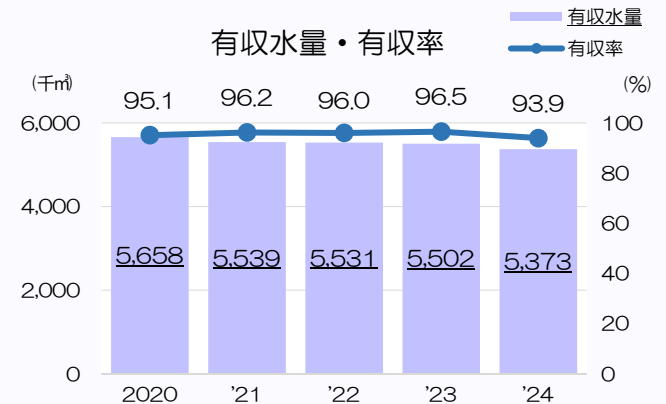
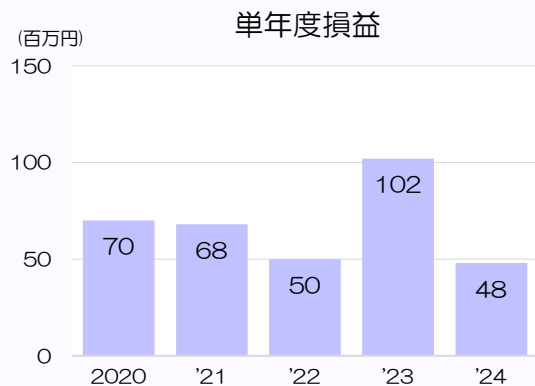
収益は、その他収入が増加したものの、有収水量の減少により給水収益が減少したことなどにより、前年度と比べると10百万円減少しました。

費用は、修繕費や委託料などの維持管理費や減価償却費が増加したことなどにより、前年度と比べると44百万円増加しました。これらの結果、単年度利益は前年度に比べ54百万円減少し、48百万円となりました。



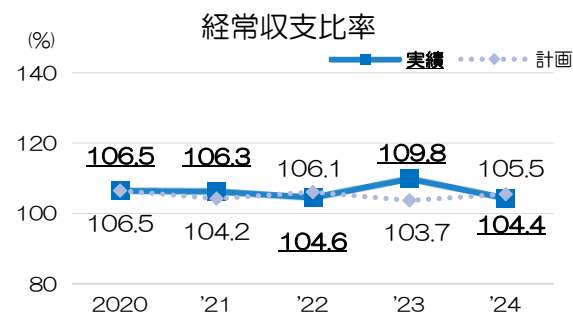
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことで。

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



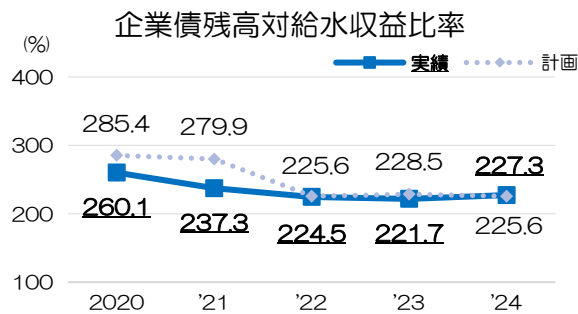
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	○	○	△	○	△

〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、5.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値109.1%】



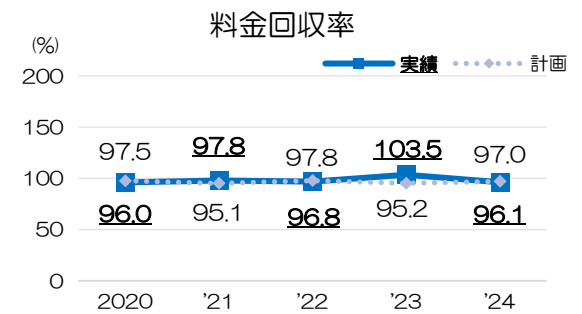
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	○	○	○	○	△

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、給水収益が減少したことから、5.6ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値304.0%】



達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	△	○	△	○	△

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2024年度の実績は、計画を概ね達成しました。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、7.4ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値98.9%】